



工事現場の労働災害ゼロを目指して！

～工事安全対策協議会小国支部11月安全パトロールを実施～

飯豊山系砂防事務所工事安全対策協議会では工事の労働災害等を未然に防止することを目的として、安全パトロールを毎月1回実施していますが、小国支部では平成29年11月28日(火)に第6回安全パトロールを2現場で、受注者発注者合わせて11名で実施しました。

◆現地点検箇所

- ・森残川第3号砂防堰堤その2工事
- ・足水川上流砂防堰堤その2工事

◆現地安全点検

安全パトロールでは、参加者全員で施工中の工事の危険ポイントを確認すると共に、意見が出された現場については検討を行い、良い事例は他の工事現場でも積極的に取り入れることとしています。

安全点検状況

手すりが固定されてなく、クランプカバーも無い



発電機部分に転落防止が必要



鉄板上の滑り止め対策が必要



積雪で埋没しないよう設置場所を見直すこと。



積雪で資材等が埋没する。整理し目印をつけること。



避難経路の仮橋にもものを置かないこと。



◆現地点検結果の報告

安全パトロール終了後、参加者から出された主な意見は以下のとおりです。

- 確認事項
- ・足場や防護柵がしっかり固定されていない箇所があり、クランプカバーの取り付けも含め対策を行うこと。
 - ・発電機周囲も除雪が必要であるため、転落防止が必要。
 - ・敷鉄板の上が積雪・凍結により滑りやすくなっているの滑り止め等の対策をすること。これから降雪のシーズンとなるため運搬路も含め車両重機のスリップ対策を行うこと。
 - ・積雪により資機材が埋まり見えなくなる。整理整頓し置き場所にポール等目印を設置し所在がわかるようにする。
 - ・重機等の避難の際支障となるため、仮橋の上に資機材等を置かず、避難路を確保すること。

12月に入り積雪及び凍結する時期となりました。降雪時の対策などについては現場内だけでなく工事用道路も含めて再確認をお願いします。暗くなるのも早くなっています。現場だけでなく交通事故にも注意してください。

・各工事とも完成に向けて追い込み時期となってきました、なお一層「安全対策」を心掛けてください。